

# 特別支援学級 総合 学習指導案

日 時 2026 年 1 月 15 日 (木)  
第 5 校時 13:30～14:20  
対 象 特別支援学級 1・2・3 年 25 名  
会 場 武 道 場

## 1 単元名

総合「太鼓 (族)」

## 2 単元の目標

和太鼓の演奏を通して、日本の伝統音楽に親しみながら、リズムや表現の工夫を感じ取り、仲間と心を合わせて演奏する力や、互いを認め合い協力する態度を身に付ける。また、仲間と一緒に活動する中で、自分の役割を意識しながら、集団で表現する楽しさや達成感を味わう。

## 3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①太鼓の音やリズムに親しみ、自分なりに打つことができる。 ②膝を曲げたり、肘を伸ばしたり、体を大きく使って叩くことができる。	①周囲の音を感じながら演奏しようとしている。 ②覚えたリズムをダイナミックに表現している。 ③アレンジのための動きを考え、表現している。 ④他のグループに、発表の中で気づいたことを伝えようとしている。	①活動に意欲的に参加し、最後まで取り組もうとしている。 ②仲間と一緒に演奏することを楽しんでいる。 ③話し合いに参加し、アイデアを伝えようとしている。

## 4 単元指導計画（全 18 時間扱い）

時	目標	学習内容 ・ 学習活動	評 価
1	・どのような曲、演奏の仕方が知る。 ・太鼓の叩き方の基礎を知る。	・1年生に対し、2・3年生が手本を見せる。	アー①【観察】 アー②【観察】
2 ～ 7	・前半部分を区切って練習する	・リズムごとに部分練習をし、初めから練習した部分までの合わせ練習を繰り返し行う。	アー①【観察】 アー②【観察】 ウー①【観察】 ウー②【観察】
8 ～ 9	・前半部分を通して叩けるようになる	・体の使い方を意識審ながら、前半部分の通し練習をする。	イー①【観察】 イー②【観察】
10 ～ 14(本時)	・太鼓のアレンジをして発表しあう。 ・発表に向けて合わせる。 ・お互いに発表しあい、互いの工夫を認め合う。	・5～6人組にグループを分けてアレンジを考える。 ・アレンジした部分を発表しあい、良かったところをお互いに伝える。	イー③【観察、発表】 イー④【観察、発表】 ウー③【観察、発表】

15 ～ 17	・後半部分を区切って練習する	・リズムごとに部分練習をし、後半の初めから練習した部分までの合わせ練習を繰り返す行う。	アー①【観察】 アー②【観察】 ウー①【観察】 ウー②【観察】
18	・はじめから終わりまで通して練習する	・声を出すこと、体を大きく使うことを意識して合わせる。	イー②【観察】 ウー③【観察】



## 5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（協働的な学び）



- ・上手に叩ける生徒や声をかけることができる生徒を中心にグループを組み、リーダーとして動くことで責任感を高め、自分から学習に取り組もうとする気持ちを育てる。
- ・発表して良いところを互いに認めあうことで、楽しみながら向上心をもてるようにする。

## 6 本時の指導（全 18 時間中の 14 時間目）

### （1）本時の目標

お互いに発表しあい、互いの工夫を認め合う。

### （2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	○太鼓の準備 ○本時の目標、流れを聞く。	□けが防止のため、上履きをはいている状態で太鼓を準備する。
展開 40分	○体操を行う ○4 グループに分かれて太鼓の練習 ◎発表に向けて、どんな動きを取り入れるかアイデアを出し合い、一つの作品になるように協力して練習する。  ○発表を行う。  ◎お互いの良かったところを伝え合う。伝えてもらった良かったことを踏まえ、新しいアイデアを考える。 	□太鼓で使うところを特に動かしておく。 □太鼓の並べ方や立ち位置を自分たちで決めさせる。 □各グループを回りながら、どのリズムで・どんな工夫をしたらよいかアドバイスをする。 また、ある程度発表が決まったグループには地打ちを入れて、簡単なリハーサルをさせる。 □他のグループの工夫した点を意識して見させる。 □どんな工夫がよかったか発表させる。 ◆イー③【観察、発表】 ◆イー④【観察、発表】 ◆ウー③【観察、発表】 □太鼓の立ち位置も自分たちで決めさせる。 □できるだけ、良かったところを発表させる。
まとめ 5分	○片付けを行う。 ○本時の振り返りを行う。	□けが防止のため、上履きをはいている状態で太鼓を片付ける。 □本時の工夫でよかった点や、教員からの講評を伝える。

